

ブラジル通信第9回

～ 子どもたちとの最後の大会、結果は… ～

今回は、12月に行われた大会について書いていきます。シーズン最後の大会でもあり、私にとっても子どもたちと一緒に参加する最後の大会となりました。今回の大会は、プレインファンチルカテゴリー（9、10歳）対象で、ブラジル全土からチームが集まる、大きな大会。参加チーム数は23チームでした。23チームが16チームのAグループと7チームのインセンティブグループに分かれて計2日間、熱戦が繰り広げられました。私たちのチームはインセンティブグループで参加。Aグループとこのインセンティブグループの違いは、1年間の試合成績等を考慮して分けられたものです。サッカーで言うとJ1がAグループでJ2がインセンティブグループといったところだと思います。（画像はブラジル野球連盟HPより。私のチームは最下段、左から2つ目。）



大会1日目。7チームのインセンティブグループはさらに3チームと4チームのグループに分かれて予選を行いました。各グループ、上位2チームが2日目の決勝リーグに進出できます。私のチームは3チームのグループで試合。1試合目は23対15で勝利。続く2試合目は惜しくも5対3で敗退。しかし、グループ内で2位に入り、2日目の決勝リーグへ進出。



そして、大会 2 日目。1 試合目は別グループを 1 位通過したチームと対戦。9 対 2 で勝利！！そして、決勝戦へ。相手はこちらと同様、1 位通過したチームを破って、決勝へ進出してきました。

いざ、試合開始。初回の攻撃でこちらが 1 点先制するも、その裏に 3 点を失い逆転を許す展開。お互い、真夏の強い日差しの中、2 日間 4 試合を戦いぬいた後の決勝戦。勝負を分けたのは投手でした。2 回に入り、相手チームの投手陣の制球が定まらなくなり、四球での連続押し出し、そこにこちらのヒット、相手チームのエラーが重なり一挙、9 得点。

その後、1 点を失うも 10 対 4 で迎えた最終回の守り。最後の打者の打球は、フラフラと上がり、捕手の斜め後方へ。上手く、体がかがめながら見事キャッチ！優勝！子どもたち、よく頑張りました。子どもたち、また彼らのお父さん、お母さん、みんなが喜んでる姿を見ると私自身も本当に幸せな気持ちになりました。

ぜひ、これをきっかけに任地での野球の活動がさらに盛り上がってほしいと思います。

